

# 男子団体準優勝！ 近畿選抜大会への出場決定！

11月7日(土)・8日(日)に、「第52回新人戦兼第34回全国選抜大会・第23回近畿選抜大会大阪府予選」が行われました。本校からは、ブロック予選を通過した男子個人4名、女子個人1名、男子団体2チームが出場しました。全国選抜大会へは、個人戦で2位まで、団体戦で1位校が、近畿選抜大会へは、個人戦で6位まで、団体戦で2位校までが出場権を得ます。

## ◆11月7日(土) 個人戦 自信を取り戻すんだ・・・

本校からは、男子の2年場口、西野、1年北井、曾山、女子の2年山本が出場しました。個人戦は5立合計20射の総的中で争いますが、途中3立目で6中以上の中の選手のみ決勝の4、5立目に進めるという予選形式をとっています。結果は、女子の山本は思うように的中が伸びず、3立目で敗退という悔しい結果となりました。しかし、男子の4名は、3立目までを曾山7中、西野7中、北井9中、場口9中と全員決勝に進みました。北井、場口は後半の的中次第では上位入賞も期待できる位置につけました。しかし、勝負の4、5立目でともに8射5中、合計14中で惜しくも入賞はなりません。しかし、10月の私学大会での惨敗や、ここ数日の調子を考えれば上出来ではないでしょうか。“いい感じに仕上がってきた”と前向きに捉えて、自信を取り戻して明日の団体戦を迎えられそうです。

## ◆11月8日(日) 団体戦 あと1本・・・

団体は、5立合計60射での総的中で争いますが、3立目までの合計で上位6チームに絞られる予選形式をとります。本校はAチームが1年伊藤、古川、浅田、Bチームが2年西野、1年北井、2年場口、補欠に1年曾山の2チームです。Aチームはブロック予選もギリギリ通過の状態でしたので、力不足は否めません。精一杯頑張りましたが的中が伸びず、3立目までで予選落ちとなりました。しかし、貴重な体験になったと思います。Bチームは、前日の個人戦で何かきっかけをつかんだのか、1立目10中、2立目11中とこれ以上ないロケットスタートを切りました。3立目も8中と踏ん張り、予選3立を29中としてトップに立ちました。しかし、本当の勝負は残りの4、5立目です。4立

団体戦 開会式



団体Aチーム



団体Bチーム

目7中と苦しい中で、2位の岸和田産業が10中の高的中で一気に並ばれてしまいました。同中で最後の5立目、本校は9中と頑張りを見せましたが、岸和田産業がまたしても10中の高的中で逆転されました。わずか1本差で全国選抜大会の切符を逃してしまいました。しかし、堂々の準優勝で、近畿選抜大会への団体での出場が決定しました。



団体戦 勝負の5立目

### ■本当によく頑張りました。

団体での近畿大会出場は(7月の近畿大会、11月の近畿選抜あわせて)3回目となりますが、過去2回は地元大阪開催のときでしたので、今回初めて他府県での近畿の舞台です。そういう意味では本当にうれしいです。全国選抜大会出場を逃した悔しさがなければ嘘になりますが、今回は“本当に良く頑張った”と言ってあげたい気持ちでいっぱいです。

思えば、10月の私学大会で屈辱的な敗戦を喫し、立ち直れないくらいのショックを受けました。その日から、生徒に「この悔しさを忘れるな」「絶対に新人戦でリベンジするんだ」と言い続けて来ました。しかし、一度崩れた調子を立て直すのは簡単なことではありません。でも、あせらず、「大丈夫、絶対良くなる。必ず当たるようになる。自信を持って。自分を信じろ。」と言葉を掛け続け、細かい技術的なことにこだわらず、迷いのない離れが出るように練習しました。顧問として、とにかく「試合当日を何の迷いもなく、自信を持って迎えられるように。」ということだけを心がけました。結果、個人戦できっかけをつかみ、団体戦の1立目で10中の高的中が出たことで、一気に波に乗ることができました。すべてがうまくいった感じです。本当に結果が出てよかったです。

### ■さあ、近畿選抜大会へ

今回は良い結果が出ましたが、実力的にはまだまだです。もう一度基本に戻り、しっかり練習して大会を迎えたいと思います。近畿選抜大会は、予選2立でいきなり4校に絞られます。非常に厳しいですが、何とか決勝トーナメントに残れるように頑張りたいと思います。応援宜しくお願いします。

第23回近畿高等学校弓道選抜大会

日時:11月22日(日)

場所:東洋大学附属姫路高等学校弓道場

※男子団体戦に出場



頑張ります!

『成功の9割は、信じる気持ちから生まれる。』